

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年6月22日（月）～平成27年6月28日（日）〔第26週〕の感染症発生状況

第26週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 手足口病 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.85人と前週（8.24人）より減少しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

手足口病の定点当たり患者報告数は6.18人と前週（4.91人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

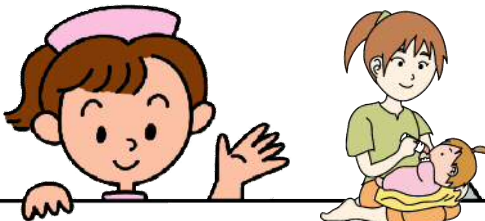
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.12人と前週（4.00人）からやや増加しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



手足口病の流行発生警報を発令しました！

手足口病の患者報告数が例年より早いペースで増加しています。川崎市では、第26週の患者報告数が定点当たり6.18人と警報基準値（5人）を超えたため、市内に流行発生警報を発令しました。

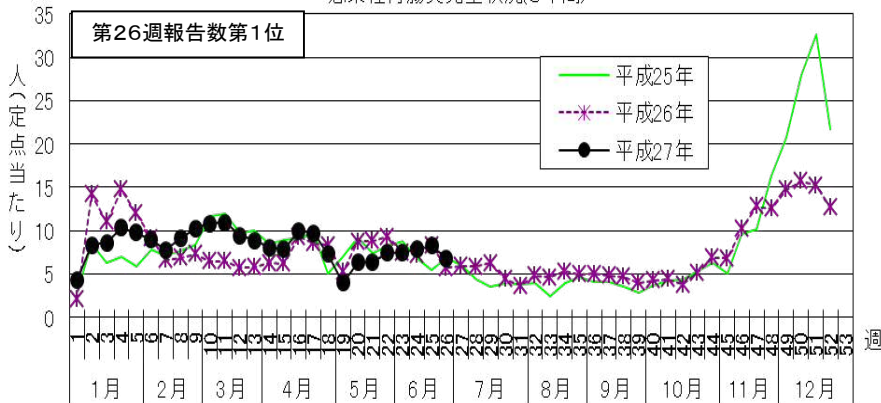
例年のピークである7月に向けて、患者報告数はさらに増加すると考えられますので、手洗いなどの予防対策を徹底してください。



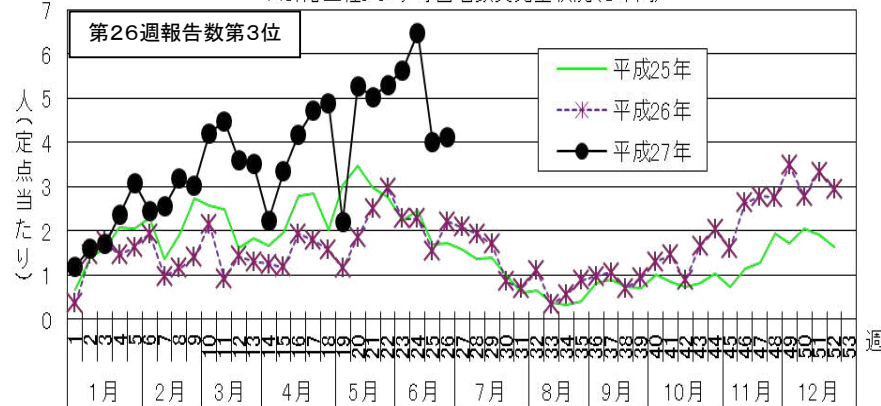
～手足口病で気をつけたいこと～

- ① 口内炎ができると、痛みにより飲食できなくなることがありますので、脱水症に注意しましょう。
- ② 症状改善後も、1か月程度ウイルスが便中に排泄されることがあります。
- ③ 手洗いの徹底及び便の適切な処理が予防対策の基本です。

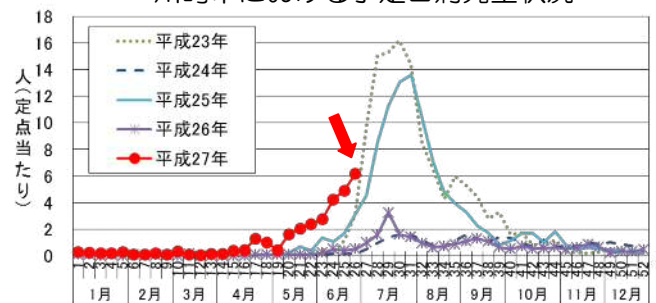
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



川崎市における手足口病発生状況



平成27年手足口病患者年齢割合

